



# ストップ温暖化ニュース(第13号)

平成30年11月26日

藤沢市地球温暖化対策地域協議会

発行責任者：会長 黒田 亘

異常気象多発した夏、連鎖の恐れ

## 地球温暖化に関する報道から

### 「2030年にも1.5℃上昇、IPCC被害明示」

国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は地球温暖化の影響で早ければ2030年にも産業革命からの平均気温上昇が1.5度上昇した時の影響を予測する初の報告書を公表した。

(IPCC 報告書から)	1.5度	2度
2100年までの海面上昇	26～77センチ。リスクを被る人は2度より1千万人減	1.5度よりも10センチ高まる
動植物の生息域への影響	昆虫の6%、植物の8%、脊椎動物の4%で半減	昆虫の18%、植物の16%、脊椎動物の8%で半減
珊瑚礁への被害	7～9割が消失	99%以上が消失

IPCCの報告書で「誰もが安全で持続可能な世界を確保する上で、今後数年間の取組みが極めて重要となる」と強調。各国がさらに厳しく温暖化効果ガス削減に取り組むよう促した。(毎日/日経)

### 「異常気象の夏 記録づくめ 世界で観測 温暖化原因か」

気象庁は東日本の平均気温は1946年の統計開始以降で最も高く、台風の発生は観測史上最多タイだった。異常気象は日本だけではない。世界気象機関（WMO）によると、米カリフォルニア州や北アフリカで50度以上を観測し、北欧の北極圏でも30度超を記録した。ギリシャでは熱波が原因とみられる山火事で、ラオスでは暴風雨に伴う増水による建設中のダムが決壊で、いずれも多くの方が犠牲となった。

なぜ、地球規模でここまでの異常気象となったのか。WMOは原因について一致した結論は得られていないとしながらも、「温暖化ガスの増加による長期的な地球温暖化の傾向と関係している」と指摘。(日本経済新聞)

### 「環境危機時計 14分進む 過去最悪 9時47分」

地球環境の悪化による人類存続への危機感を時計の針で示す「環境危機時計」の2018年の時刻は、「9時47分」だった。0時から12時で表し、12時に近づくほど危機感が高まっていることを示す。昨年より14分進んで過去最悪となった。旭硝子財団（東京都）が9月7日発表した。調査は同財団が1992年から実施している。世界各国の大学や研究機関、NGOなどで環境問題にかかわる有識者を対象に、環境への危機感を時刻で答えるアンケートを実施。今年は139カ国の1866人から回答を得た。(朝日新聞)

## 温暖化防止映画会開催のお知らせ

藤沢市地球温暖化地域協議会は、藤沢市環境総務課と共催で温暖化防止映画会を開催致しますので多数の方々のご参加をお待ちいたします。

日時：2019年2月2日（土）14：00～16：00 13:45受付開始、当日先着50名（無料）

場所：藤沢市役所本庁舎 5階 5-1会議室

映画題名：「不都合な真実 2」2006年以来10年振り、アル・ゴア元米副大統領作成の作品

環境講座「ソーラークッカーを体験しよう」を開催しました（協議会 林 陽生）

藤沢市地球温暖化地域協議会と藤沢市環境総務課の共催による、標記の環境講座を10月6日（土）に明治公民館で開催しました。講師は、ソーラークッキング研究家の西川豊子氏で、15名が参加

しました。会場には様々な様式のソーラークッカーが並べられ、それらの原理・利用につきパネルとパワーポイントを使った説明が行われました。当日の天気はあいにく曇りだったためミートローフ調理は完成しませんでした。あらかじめ焼いたクッキーを頂きながら楽しい環境講座となりました。参加者は小学生の子どももおり、普段使用するガスや電気の代わりに意外に簡単な方法で自然エネルギーが利用できること、開発途上国ではソーラークッカーが活用されている現状など、地球環境保全の重要性を知る機会になりました。こうした体験的学習が、地球温暖化対策の一助となることを期待しています。



#### くらしフェスタ藤沢(みんなの消費生活展)に参加して

(協議会 井口 登志子)

11月10日(土)湘南台公民館において第51回消費生活展が開催されました。21団体の参加、地域の子供達の作品展示、小中学生のキッズダンスやマジシャンのパフォーマンス、ミニ講座が行われました。協議会はパネル展示で活動状況を写真で説明、また協議会の勉強会での「食品ロス」についてグラフ等で説明しました。又「買い物チェックリスト」を用意して参加を呼びかけ、「環境にやさしい買い物のしかた」をお渡ししました。多くの方々とのコミュニケーションが出来大変有意義でした。



#### ぶらりごみ拾いIN六会2018に参加して

(協議会 岩隈 京子)

10月20日(土)協議会より3名参加しました。環境美化啓発活動です。日本大学を出発し、多摩大学の終点までポイ捨てゴミ、不法投棄ゴミを拾った量で順位を決めます。当協議会は残念でした。日本大学、多摩大学の学生さんが実行委員となり、環境事業センター、各団体、中学校、大学と協働の活動で奇麗になりました。表彰式は拍手と歓声、その後、焼きそば等を頂き解散。天気に恵まれ若い皆さんとボランティア楽しかったです。1万歩。



#### 食品ロスについて

(協議会 井口 登志子)

最近食品ロスについて、日常的に言われるようになりました。まだ食べられるのに捨てられる食品、どうしたら削減できるか私達一人一人が我が事として考えなければなりません。地球温暖化とも大いに関係があり、我が国の食糧自給率もアップ出来るのです。

私達は消費期限と賞味期限の違いを理解したうえで、買い物をする時、棚の手前の商品から籠に入れましょう。日本の食品業界には1/3ルールというものがあって、賞味期限の1/3を残して棚から撤去されます。シールを貼った値引き商品も期限の手前で値引きしています。家計も助かるし、それらを買うことによって食品ロスの削減に貢献することにもなるのです。

家庭では食べ残しをしないことや冷蔵庫の整理、保管備蓄食のローリングストックも削減に一役買っています。そして賞味期限に依存しすぎないで自分の五感で個別に判断することも必要です。まだまだ工夫はありそうですね。一度ご家族で話し合ってみませんか。

藤沢市地球温暖化対策地域協議会では会員を募集しています。黒田まで電話を！0466-82-9508  
ホームページを開設しました。[<https://ondankakyougikai-f.jimdofree.com/>]

会報編集委員：井口登志子、内藤貞人、黒田亘 事務局：藤沢市環境総務課